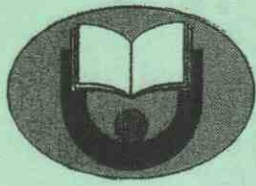


宇佐市民図書館だより

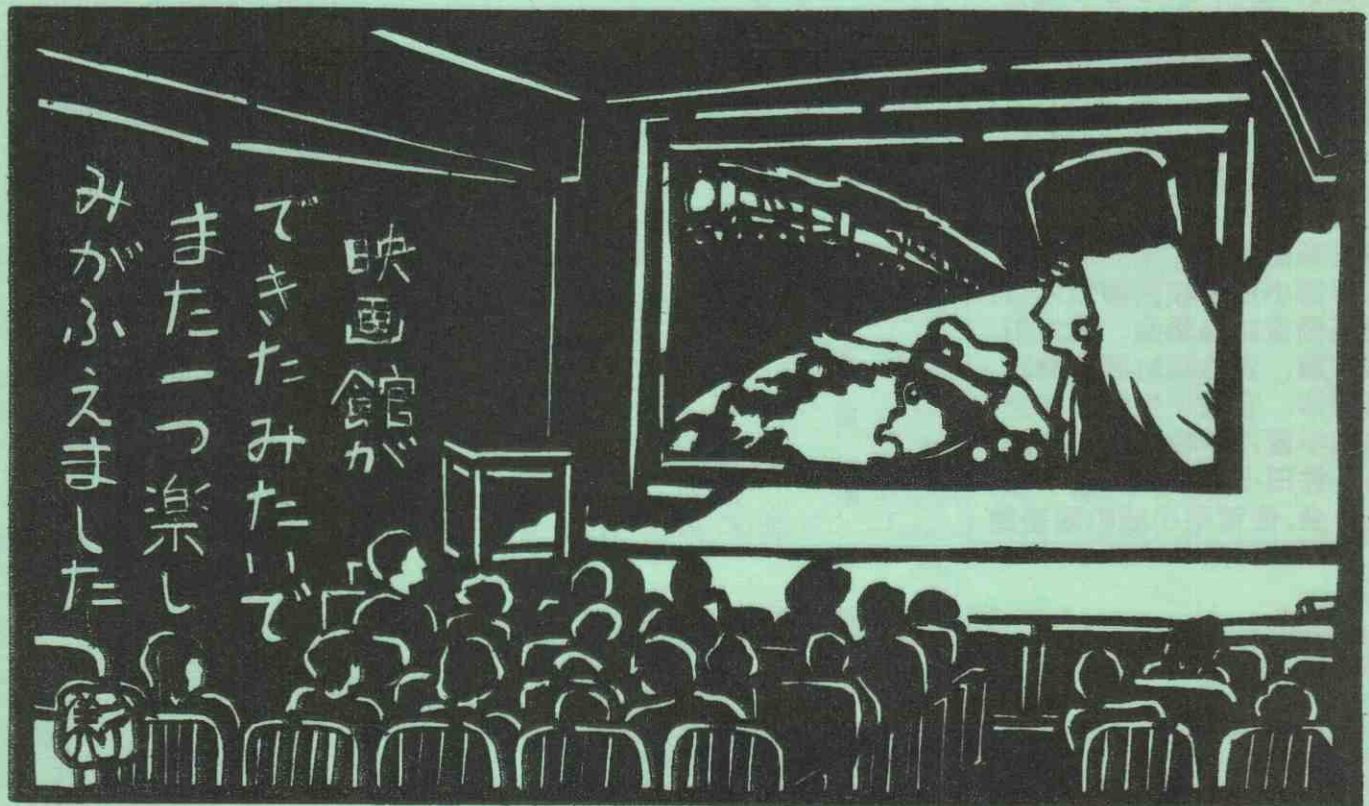


# みんと

第7号  
1999年9月1日発行

〒879-0453  
大分県宇佐市大字上田1017-1  
宇佐市民図書館

TEL: (0978)-33-4600  
FAX: (0978)-33-4679



## よむぞう

### 平和を学ぶ子供たち

中学生3人が平和について調べている途中、質問にきました。「原爆でやられた子どもを守ろうとした先生のことを歌った短歌があるんですけど、そういう短歌が載った本はどこにありますか」▼「子どもを守ろうとした先生?上の句を覚えていないかなあ」「たしか、太き骨は先生なのか?だったと思います」「どこでその歌を知ったの?」「小学校の職員室に大きく書いて、はっていました」「何小学校?」「N小学校です」「よし、直接確かめてみよう」▼「あったよ。少し違ってはいたけど、『太き骨は先生ならむそのそばに小さき頭の骨集まれり』だった。『日本原爆文学』『原爆句抄』『日本の原爆記録』(17巻、18巻)『原爆詩人物語』などが館内にあるから、調べてごらん」。しばらくして、「ありました。正田篠枝さんの歌集『さんげ』の中にありました。『太き骨は先生なりあたまの小さき骨側にそろひてあつまりてある』という歌も載っていました」▼『石炭にあらず黒焦の人間なりうずとつみあげトラック過ぎぬ』『天上で悪鬼どもが毒槽をくつがへせしか黒き雨降る』『木端みじん足踏むところなきなかに血まみれの顔父の顔なり』『子と母か繋ぐ手の指離れざる二ツの死骸水槽より出ず』この四首を彼等は心に残った歌として挙げてくれました▼筆者も負けじと句集、歌集を探している内に山口誓子の『海に出て木枯帰るところなし』が目にとまりました。誓子は「再び還ってくるのではない特攻隊の兵士を、海に出ていく木枯と重ねて詠みました。悲しい時代でした」と記している。佐高信著『人生のうた』より。夏休み中、図書館で多くの子どもたちが平和について調べていました。

いつもとちがう 寄り道をしよう 宇佐市民図書館

# 夏休み

# 子どもたちでにぎわう

## 8月の宇佐市民図書館

★入館者数 29,212人  
(累計 175,110人)

★貸出冊数 32,185冊  
(累計 219,994冊)

### ★展示会と講演会等

- \*横光利一展 8/21~
- \*横光利一の世界 8/22  
講演、フォーラム

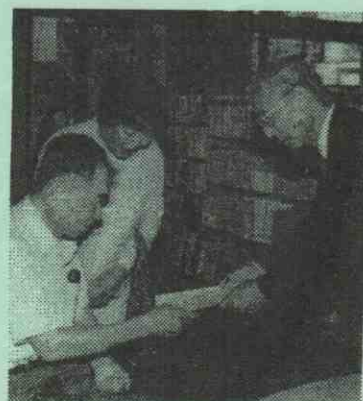
### ★主な来館者

大野郡小中学校図書館部会、西高図書館協議会、結方町図書館、安心院町図書館職員研修、宇佐中生徒3年生体験学習、学校図書館協議会、佐田小PTA、絵本を読む会、佐賀県小城町図書館

7月21日からの夏休みには1日平均1,456人が来館し、同じく1,591冊の本を貸出しました。「押し花教室」や「ふるさと歴史教室」も大変好評で、調べ学習、宿題などで図書館を利用する親子連れが目立ちました。映画会は、「原爆の子」「うしろ

の正面だあれ』『月光の夏』『サウンド・オブ・ミュージック』など、20回開催し、899名の方々に楽しんでいただきました。2階東側に特設した「学習席」については、いろいろご意見がありましたが、図書館の方針にそって利用していただきました。

## 20万冊を突破



教育長から記念品を受け取る木村さん夫妻

8月10日、貸出冊数が20万冊を超え、20万冊目を借りた市内上庄の木村昭二さん夫妻に、松本教育長から記念品が贈られました。木村さんに続いて20人に、市内大塚の後藤アヤメさんが図書館に贈ってくださったブックカバーを記念に渡しました。ブックカバーは、蚕、繭、絹糸、草木染め、織物とすべて手作りでできた心のこもったものです。

## 押し花教室

徳本妙子先生(市内法鏡寺)の指導で、8月19・20日小学生を対象に、押し花教室を開きました。参加した34名の子どもたちは、まず黄花コスモスを使って押し花の基礎を学びました。

なごやかな雰囲気の中で、時間を忘れて押し花作りを楽しむことができました。しおりを何枚も作って大喜びで、子どもたちは大満足でした。ふれあい工作室で。



押し花づくりを楽しむ子どもたち

## ふるさと歴史教室

7月28日・8月4日・11日に、延べ52名が参加して、文化課の佐藤良二郎さん、川谷浩さん、江藤和幸さんの指導で古代の宇佐の歴史を学びました。図書館から歴史博物館へ場所を移して勉強したり、実際に土器を作ったり、貴重な体験をし、土笛(土製の笛)などを焼き上げました。

## こどもスペースだより⑤

### ベストリーダー10

図書館が2月27日に開館して半年経ちました。こどもスペースのベストリーダーを一部紹介します。児童書

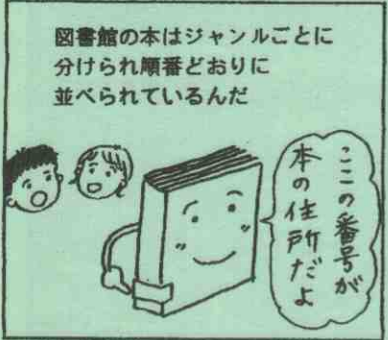
- 1 忍たま乱太郎シリーズ
- 2 海賊ポケットシリーズ
- 3 おはなしなぞとき恐竜の世界
- 4 ウォーリーをさがせ
- 5 かいけつゾロリシリーズ
- 6 小さなおばけシリーズ
- 7 いたずらまじょ子シリーズ
- 8 わかったさん・こまったさんシリーズ
- 9 にゃんたんのゲームブック
- 10 ズッコケ三人組シリーズ

### 絵本

- 1 あかちゃんのおそびえほん
  - 2 ぐりとぐらシリーズ
  - 3 10びきのかえるシリーズ
  - 4 はらぺこあおむし
  - 5 11びきのねこシリーズ
  - 6 ポケモン絵本
  - 7 テイモシーとサラシリーズ
  - 8 とりのせきのますだくん
  - 9 汽車のえほんシリーズ
  - 10 アンパンマンシリーズ
- これらの本は、今月特集展示します。展示架を見てください。  
9月15日は敬老の日です。

【おじいさん・おばあさんの本】の絵本を奥の絵本架に展示します。

# USA ライブラリ 来ぶらり



今回、展示されている横光利一宛の小林秀雄書簡は、この文芸時評の直前に書かれたものです。そのなかで「機械」は、「千番に一番の代物」と絶賛されています。

林芙美子に宛てた横光利一の書簡は、詩集を贈られたおりの礼状です。横光利一は昭和十一年にヨーロッパへ旅立つ際、外遊の先輩である林芙美子から、親身なアドバイスを受けています。長男ですが、上に姉を持つ弟であった横光利一にとって、林芙美子は姉のような存在だったかもしれませぬ。

小説原稿を見ると、升目を埋めては消し、消しては補ってゆく、創作中の苦心の軌跡をまのあたりにする思いがします。絶えず「光のある」言葉を追い求めた作家の執念さえ感じられます。



## 横光利一展のみどころ

交友関係示す 書簡など



横光利一展を見学し談笑する 城山三郎さん 右は職員松壽さん

城山三郎氏は、「横光利一の生き方」と題した講演(8/21・宇佐文会館)で、評論家・小林秀雄の横光評に共感を示し、「律儀さ」ということを強調しました。

小林秀雄はかつて、横光の「機械」という小説を「世人の言葉にはない言葉で書かれた倫理書だ」と、その比喩なさを表明したこともあります。

### ご意見箱より

シリーズものの本は、完結まできちんと入れて欲しいです。「ゴクドールくん漫遊記」をとくに！人気のある本は、いつも借りられていて、なかなか読めないの、2、3冊くらい入れて欲しいです。「封神演義」をたくさん！ (宇佐市 高校生 女性)

「封神演義」が読みたい。1冊ずつではいっ行ってもありません。2冊入れて下さい。 (宇佐市 中学生 男性)

その場所に本がないことがありません。(貸出し中ではないのに)これは、どういふことでしょうか。 (宇佐市 中学生 男性)

宇佐市のゼンリン地図がありません。以前あったのになくなったのでしょうか。是非お願いします。 (宇佐市 40代 男性)

本が見つからない時は、カウンターで遠慮なく聞いてください。要望の多い本は複本といって数冊入れることもあります。ゼンリン地図はあります。回答は館内に掲示しています。

### 郷土スペース通信⑥

#### 大分県立図書館の介護保険目録

来月四月に介護保険がスタートします。当館では七月に、在宅介護や介護サービスなどの関連書とあわせ、入口の展示架で「介護保険」特集を組みました。

タイトルに「介護保険」のつく本は、「介護保険とは何か」、「介護保険のすべて」(ともに保険同人社)など、一般書のなかに現在約二十冊ほど所蔵しています。

法律の条文は、「介護保険法正文」(信山社)で読むことができます。この小冊子は、介護保険法が交付された平成九年十二月十七日発行の「官報」(号外第二五一号)をコンパクトにまとめたもので、概要や施行法も収録しています。

介護保険への関心が高まることをみこんで、大分県立図書館はこのほど、「介護保険関係資料目録」を発行しました。一四四冊の関連図書、一五七件の雑誌記事のデータのほか、図書については、県内の全市町村立図書館の所蔵状況が盛り込まれています。

大分県立図書館が所蔵する資料も、協力貸出し制度を利用することで、宇佐市民図書館からお貸しできます。詳しくは職員にお問い合わせください。



# 9月の宇佐市民図書館

1	水	ほんの森号①和間小②封戸小③宇佐公民館
2	木	ほんの森号②北馬城小③長洲公民館
3	金	ほんの森号②西馬城小③四日市公民館
4	土	映画『昆虫大図鑑トンボ・チョウ』14時～14時50分
5	日	映画『午後の遺言状』14時～15時52分
6	月	休館日
7	火	ほんの森号②豊川小
8	水	ほんの森号①天津小②長峰小③小峰団地
9	木	ほんの森号②横山小③渚団地
10	金	ほんの森号①糸口小②高家小③貴船団地
11	土	おはなし会 11時～11時30分 (おはなしのへや) 映画『日本昔ばなし』14時～14時50分
12	日	映画『アパートの鍵貸します』14時～16時01分
13	月	休館日
14	火	ほんの森号①麻生小②八幡小
15	水	休館日
16	木	ほんの森号①和間小②封戸小③宇佐公民館
17	金	ほんの森号②北馬城小③長洲公民館
18	土	映画『未来少年コナン3』14時～15時58分
19	日	映画『思い出トランプ』14時～15時30分
20	月	休館日
21	火	ほんの森号②西馬城小③四日市公民館
22	水	ほんの森号②豊川小
23	木	休館日
24	金	ほんの森号①天津小②長峰小③小峰団地
25	土	映画『すてきな三にんぐみ』『ごんぎつね』14時～14時45分
26	日	映画『ティファニーで朝食を』14時～15時54分
27	月	休館日
28	火	ほんの森号②横山小③渚団地
29	水	ほんの森号①糸口小②高家小③貴船団地
30	木	休館日

ほんの森号の時間帯①10:30～11:10②13:00～13:40③15:20～16:00

映画は、1階視聴覚ホールにて上映します。

## 渡網記念ギャラリー

### 横光利一展～光のある言葉を求めて～

10月3日まで 開催中

宇佐市ゆかりの作家・横光利一は昨年、生誕百周年を迎えました。今回の文学展は昨年からの記念行事の一環として企画され、当館が所蔵している初版本のコレクションをはじめ、貴重な資料を多く展示しています。

### 【主な展示品】

#### ●原稿

盟友・川端康成が書いた横光利一への弔辞  
師・菊池寛が書いた横光利一への弔辞など

#### ●書簡

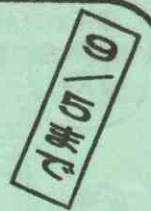
横光利一がヨーロッパ旅行中に妻に宛てたもの  
横光利一が林芙美子に宛てたものなど

上記の展示品は、ごく一部のものです。  
ぜひ一度、ご覧ください。

アート・プラザ 2階

## 横光利一生誕百年記念 利一を書く 書展

横光利一の詩や俳句などを書いた作品22点を、  
展示中です。9月5日までですので、お早めにご来館ください。



## 横光利一俳句大会受賞作品 図書館内に展示中

宇佐市が横光利一百年周年を記念して全国から俳句を募集したところ、小中学生から大人まで四、〇七九人、計一、〇〇〇句の応募がありました。  
館内には一般の部三十六句と小中学生の部三十句、それぞれ受賞した句を展示しています。  
なお受賞作品リストも置いてありますのでご自由にお取り下さい。

## おはなし会

【日時】  
9月11日(土)  
11時～11時30分  
【場所】  
おはなしのへや



## 寄贈をいただいた方

(七月二十九日現在)

宇佐高田医師会病院・永井守昌・  
蓑田万寿美・香下三保子・(財)  
松下視聴覚教育研究財団・小野多  
也 守・武久芳子・渡辺輝綱・松下修

ありがとうございました